

製品名: BBS1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03917**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 65 kDa; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	BBS1
別名	BBS1, BBS2L2, Bardet-Biedl syndrome 1 protein, BBS2-like protein 2
遺伝子 ID	582.0
SwissProt ID	Q8NFJ9
免疫原	ヒト BBS1 の合成ペプチド

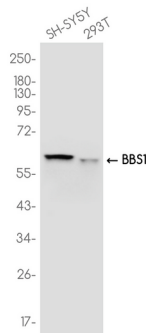
背景

BBSome 複合体は、特定の膜タンパク質を一次繊毛へ選別するために必要なコート複合体として機能すると考えられています。BBSome 複合体は繊毛形成に必須ですが、中心小体サテライト機能には不要です。この繊毛形成機能は、基底小体に局在し BBSome と接触する Rab8 GDP/GTP 交換因子によって部分的に媒介されます。Rab8(GTP)は一次繊毛に入り、繊毛膜の伸展を促進します。まず、BBSome は繊毛膜と会合し、Rab8 のグアノシル交換因子 (GEF) である RAB3IP/Rabin8 に結合します。次に、Rab8-GTP が繊毛に局在し、繊毛膜基部へのキャリア小胞のドッキングと融合を促進します。BBSome 複合体は LTZL1 とともに SMO 繊毛輸送を制御し、ソニックヘッジホッグ (SHH) 経路の調節に寄与する。BBSome 複合体の適切な組み立てと繊毛への局在に必須である (PubMed:17574030、PubMed:22072986)。嗅覚繊毛の生合成 / 維持および輸送にも関与する (類似性に基づく)。

研究分野

神経科学

画像データ



BBS1 抗体を使用した SH-SY5Y、293T 溶解物中の BBS1 のウエスタン プロット分析。